

2012年8月期業績 および2013年8月期業績見通し

岡崎 健

株式会社ファーストリテイリング
グループ上席執行役員 CFO

I. 2012年8月期決算概要	P3	～	P15
II. 2013年8月期業績予想	P16	～	P24
III. ご参考資料	P25	～	P28

【資料文中のグループ事業の表示について】

各グループ事業の構成は、以下のとおりです。

国内ユニクロ事業： 株式会社ユニクロの数値が表示されています。

海外ユニクロ事業： 海外で展開するユニクロ事業が含まれています。

グローバルブランド事業： セオリー事業、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業、
ジューユー事業が含まれています。

【将来予測に関するご注意】

本資料に掲載されている業績予想、計画、目標数値などのうち、歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報に基づき作成した将来情報です。実際の業績は、経済環境、市場の需要・価格競争に対する対応、為替などの変動により、この業績予想、計画、目標数値と大きく異なる場合があります。

【連結】2012年8月期実績

売上高 : 9,286億円 (前期比 +13.2%)
営業利益 : 1,264億円 (前期比 +8.7%)
経常利益 : 1,252億円 (前期比 +16.9%)
当期純利益 : 716億円 (前期比 +31.8%)

単位: 億円

	2011年8月期		2012年8月期		
	通期実績	直近予想 (7/6)	通期実績	前年比	直近予想比
売上高 (売上比)	8,203 100.0%	9,295 100.0%	9,286 100.0%	+13.2%	▲0.1%
売上総利益 (売上比)	4,257 51.9%	4,765 51.3%	4,754 51.2%	+11.7% ▲0.7p	▲0.2% ▲0.1p
販管費 (売上比)	3,094 37.7%	3,450 37.1%	3,490 37.6%	+12.8% ▲0.1p	+1.2% +0.5p
営業利益 (売上比)	1,163 14.2%	1,315 14.1%	1,264 13.6%	+8.7% ▲0.6p	▲3.8% ▲0.5p
経常利益 (売上比)	1,070 13.1%	1,310 14.1%	1,252 13.5%	+16.9% +0.4p	▲4.4% ▲0.6p
当期純利益 (売上比)	543 6.6%	790 8.5%	716 7.7%	+31.8% +1.1p	▲9.3% ▲0.8p

【連結】2012年8月期 増収増益の要因

売上高 9,286億円 (前期比+13.2%、1,083億円増収)

- ・ 海外ユニクロ事業 +594億円
- ・ グローバルブランド事業 +289億円
- ・ 国内ユニクロ事業 +199億円

売上高総利益率51.2% (前期比▲0.7p)

- ・ 国内ユニクロ事業 ▲0.8p

売上高販管費比率37.6% (前期比▲0.1p)

- ・ 各グループ会社での経費削減

営業利益 1,264億円、営業利益率13.6% (前期比▲0.6p)

経常利益 1,252億円、経常利益率13.5% (前期比+0.4p)

- ・ 為替差損の減少により、営業外収支が前期比で80億円改善

当期純利益 716億円、前期比31.8%増

- ・ 前期に会計処理変更に伴う特別損失96億円を計上
- ・ 米国子会社の赤字による、繰延税金資産取り崩し、キャッシュフローへの影響なし

2012年8月期 グループ事業別実績

単位：億円

		2011年8月期	2012年8月期			
		通期実績	直近予想 (7/6)	通期実績	前期比	直近予想比
国内ユニクロ事業	売上高	6,001	6,215	6,200	+3.3%	▲0.2%
	営業損益 (売上比)	1,062 17.7%	1,045 16.8%	1,023 16.5%	▲3.6% ▲1.2p	▲2.1% ▲0.3p
海外ユニクロ事業	売上高	937	1,570	1,531	+63.4%	▲2.4%
	営業損益 (売上比)	89 9.6%	160 10.2%	109 7.2%	+22.9% ▲2.4p	▲31.3% ▲3.0p
グローバルブランド事業	売上高	1,240	1,480	1,530	+23.3%	+3.4%
	営業損益 (売上比)	87 7.1%	145 9.8%	145 9.5%	+65.4% +2.4p	+0.3% ▲0.3p

注：連結業績には上記のほか、ファーストリテイリングの業績、のれん償却費が含まれております。

増収減益

売上高 : 6,200億円(前期比 +3.3%)

営業利益: 1,023億円(前期比 ▲3.6%)

単位: 億円

	2011年8月期	2012年8月期			
	通期実績	直近予想 (7/6)	通期実績	前期比	直近予想比
売上高 (売上比)	6,001 100.0%	6,215 100.0%	6,200 100.0%	+3.3%	▲0.2%
売上総利益 (売上比)	2,949 49.1%	3,021 48.6%	2,995 48.3%	+1.6% ▲0.8p	▲0.9% ▲0.3p
販管費 (売上比)	1,886 31.4%	1,976 31.8%	1,971 31.8%	+4.5% +0.4p	▲0.2% +0.0p
営業利益 (売上比)	1,062 17.7%	1,045 16.8%	1,023 16.5%	▲3.6% ▲1.2p	▲2.1% ▲0.3p

【国内ユニクロ事業】売上高の状況

2012年8月期：売上高 6,200億円(前期比 +3.3%)

○大型店化による1店舗当たり売上高の増加

大型店 +20店舗、小型・標準店▲20店舗、S&Bにより1店舗当たり売上高が増加
 期末の総売場面積は、前期末比4.8%増加

直営店舗数： 出店24店舗、閉店22店舗により2店舗純増

期末店舗数 824店舗(フランチャイズ店21店舗除く)

○既存店売上高 ▲0.5%(客数 ▲5.3%、客単価+5.1%)

春物在庫を絞り込んだことにより、3月～5月の春物商売が不振

7月中旬まで気温が低く推移した影響で、夏物販売本格化の遅れ

直営既存店 前年比	2012年8月期							
	上期	3Q	6月	7月	8月	下期	通期	9月
売上高	+2.3%	▲5.4%	▲7.0%	▲2.0%	+2.0%	▲4.3%	▲0.5%	▲2.4%
客数	▲4.9%	▲7.5%	▲8.1%	▲4.6%	+2.5%	▲5.8%	▲5.3%	+0.2%
客単価	+7.6%	+2.2%	+1.3%	+2.7%	▲0.6%	+1.6%	+5.1%	▲2.6%

【国内ユニクロ事業】売上高総利益率

2012年8月期：売上高総利益率 48.3% (前期比▲0.8p)

上期(前期比▲1.3p低下)

- ・綿花をはじめとする素材価格、生産加工賃の上昇により原価率アップ
- ・集客を目的としたヒートテック限定販売の強化

下期(前期比▲0.2p低下)

- ・夏物処分の拡大による影響

	2011年8月期	2012年8月期	
			前期比
通 期	49.1%	48.3%	▲0.8p
上期	49.5%	48.2%	▲1.3p
下期	48.6%	48.4%	▲0.2p

売上高販管費比率 **31.8%** (前期比+0.4p)

人件費比率	前年比	▲0.6p
広告宣伝費比率	同	+0.2p
賃借料率	同	+0.2p
減価償却費	同	+0.1p
その他経費比率	同	+0.6p

	2011年8月期		2012年8月期		増減額	
	通期実績	(売上比)	通期実績	(売上比)		(売上比)
販管費合計	1,886	31.4%	1,971	31.8%	+84	+0.4p
人件費	589	9.8%	573	9.2%	▲15	▲0.6p
広告宣伝費	265	4.4%	282	4.6%	+17	+0.2p
賃借料	416	6.9%	439	7.1%	+22	+0.2p
減価償却費	62	1.0%	71	1.1%	+9	+0.1p
その他経費	553	9.2%	605	9.8%	+51	+0.6p

増収増益を達成

アジア増収増益続く

アジアを中心に既存店売上高の増収、
中国、台湾、韓国を中心に大量出店が続く
米国事業は赤字

直近予想に比べて計画を下回る

米国、英国、中国、韓国事業が予想を下回る

単位:億円

		2011年8月期	2012年8月期			
		通期実績	直近予想 (7/6)	通期実績	前期比	直近予想比
海外ユニクロ事業	売上高	937	1,570	1,531	+63.4%	▲2.4%
	営業損益	89	160	109	+22.9%	▲31.3%
	(売上比)	9.6%	10.2%	7.2%	▲2.4p	▲3.0p

各エリアの業績トレンド

- ・中国・香港：既存店売上高の増収続く、66店舗を出店、増収増益
中国の景気減速見越し夏物処分を早めた結果、4Qは計画未達
- ・台湾：16店舗を出店、ほぼ計画通り増収増益
- ・韓国：18店舗を出店、増収増益
景気減速による4Qの既存店割れで、営業利益は計画未達
- ・シンガポール・マレーシア：5店舗出店、計画通り増収増益
- ・タイ：4店舗を出店、計画通り好調な売上が続く
- ・フィリピン：1号店を出店し大成功を収める、売上は計画を上回り好調
- ・米国：ニューヨーク3店舗の売上が伸びず、下期は計画を下回る
ブランドビルディングのための先行投資により、通期で大幅な赤字
- ・フランス：ほぼ計画通りの業績、ラ・デファンス店増床の影響により若干の減益
- ・英国：上期からの減益トレンドが継続、4Qに売上が低迷、
在庫処分により赤字幅が拡大、計画未達
- ・ロシア：収益性が改善、計画通りの業績、通期黒字を達成

大幅な増収増益を達成

ジーユー事業：大幅な増収増益、売上高約580億円、営業利益約50億円
 ゆるパン、マキシワンピース等のヒット商品、TVCM効果により
 既存店売上高35%増
 35店舗を出店、期末店舗数176店舗

セオリー事業：過去最高益を更新
 特に日本のセオリー事業が好調、既存店増収が継続
 PLST事業が軌道に乗る

コントワー・デ・コトニエ事業：春夏コレクションから売上回復、計画通り増収増益

プリンセス タム・タム事業：計画通り前年並みの業績

		2011年8月期	2012年8月期			
		通期実績	直近予想 (7/6)	通期実績	前期比	直近予想比
グローバルブランド事業	売上高	1,240	1,480	1,530	+23.3%	+3.4%
	営業損益	87	145	145	+65.4%	+0.3%
	(売上比)	7.1%	9.8%	9.5%	+2.4p	▲0.3p

単位
: 億円

【連結】2012年8月末 B/S

単位：億円

	2011年8月末	2012年8月末	増 減
総資産	5,337	5,951	+613
流動資産	3,699	4,245	+545
固定資産	1,638	1,705	+67
負債	2,138	2,002	▲136
純資産	3,199	3,948	+749

【連結】B/Sのポイント(前期末比)

現金・預金及び有価証券の増加 + 639億円 (2,021億円 ⇒ 2,660億円)

たな卸資産の増加 + 62億円 (927億円 ⇒ 989億円)

【国内ユニクロ事業】▲46億円減 (534億円 ⇒ 488億円)

春秋物在庫の減少 ▲52億円

夏物在庫の減少 ▲6億円

店舗大型化と新店増による在庫の増加 +10億円

【海外ユニクロ事業】+ 78億円増

8月末店舗数が前期末比で、グローバル旗艦店3店舗を含め111店舗増加

【グローバルブランド事業】+ 35億円増

ジーユー事業、セオリー事業の事業拡大による在庫増

有形固定資産の増加 +112億円 (580億円 ⇒ 692億円)

ユニクロのグローバル旗艦店4店舗、GU銀座店を含みグループ新規出店215店舗

為替予約勘定(負債)の減少 ▲370億円 (596億円 ⇒ 226億円)

【国内ユニクロ事業】 為替予約と期末レートの乖離幅が縮小、
ヘッジ会計適用のため損益への影響なし

【連結】2012年8月期 キャッシュ・フロー

単位：
億円

	2011年8月期 実績	2012年8月期 実績	コメント
営業活動によるキャッシュ・フロー	+571	+1,276	
税金等調整前当期純利益	+938	+1,233	ユニクロ事業をはじめとする各事業の利益貢献
減価償却費、のれんの償却額	+261	+243	
運転資金の増減額	▲173	+24	売上債権、たな卸資産、仕入債務の増減の合計額
法人税等の支払い・還付	▲559	▲326	
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲266	▲353	
有形固定資産の取得による支出	▲187	▲237	旗艦店や出店拡大に伴う投資
無形固定資産の取得による支出	▲64	▲74	システム投資など
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲261	▲290	
配当金の支払額	▲213	▲221	一株当たり期末配当金85円、中間配当金130円の支払い
現金及び現金同等物の増加額	17	639	新規連結に伴う増加額5億円含む
現金及び現金同等物の期首残高	2,004	2,021	
現金及び現金同等物の期末残高	2,021	2,660	

【連結】2013年8月期 業績予想

売上高 : 10,560億円 (前年同期比+13.7%)
 営業利益 : 1,435億円 (前年同期比+13.5%)
 経常利益 : 1,425億円 (前年同期比+13.8%)
 当期純利益 : 845億円 (前年同期比+17.9%)

	2012年8月期	2013年8月期	
	通期実績	通期予想	前期比
売上高 (売上比)	9,286 100.0%	10,560 100.0%	+13.7%
売上総利益 (売上比)	4,754 51.2%	5,400 51.1%	+13.6% ▲0.1p
販管費 (売上比)	3,490 37.6%	3,965 37.5%	+13.6% ▲0.1p
営業利益 (売上比)	1,264 13.6%	1,435 13.6%	+13.5% +0.0p
経常利益 (売上比)	1,252 13.5%	1,425 13.5%	+13.8% +0.0p
特別損益	-18	-40	-
当期純利益 (売上比)	716 7.7%	845 8.0%	+17.9% +0.3p

単位：億円

売上高 : 6,530億円 (前期比+5.3%)

営業利益 : 1,090億円 (前期比+6.5%)

単位: 億円

	2012年8月期	2013年8月期	
	通期実績	通期予想	前期比
売上高 (売上比)	6,200 100.0%	6,530 100.0%	+5.3%
売上総利益 (売上比)	2,995 48.3%	3,175 48.6%	+6.0% +0.3p
販管費 (売上比)	1,971 31.8%	2,085 31.9%	+5.8% +0.1p
営業利益 (売上比)	1,023 16.5%	1,090 16.7%	+6.5% +0.2p

上期：增收減益
下期：增收増益

単位：億円

	2012年8月期	2013年8月期		2012年8月期	2013年8月期	
	上期実績	上期予想	前年同期比	下期実績	下期予想	前年同期比
売上高 (売上比)	3,645 100.0%	3,785 100.0%	+3.8%	2,554 100.0%	2,745 100.0%	+7.4%
売上総利益 (売上比)	1,758 48.2%	1,820 48.1%	+3.5% ▲0.1p	1,237 48.4%	1,355 49.4%	+9.5% +1.0p
販管費 (売上比)	1,035 28.4%	1,100 29.1%	+6.2% +0.7p	936 36.6%	985 35.9%	+5.2% +0.7p
営業利益 (売上比)	722 19.8%	720 19.0%	▲0.3% ▲0.8p	300 11.8%	370 13.5%	+22.9% +1.7p

【国内ユニクロ事業】業績予想の前提

	2012年8月期	2013年8月期	
	通期実績	予想	前期比
売上高	6,200 億円	6,530 億円	+5.3%
既存店伸び率(通期)	▲0.5%	+0.9%	-
上期	+2.3%	+0.0%	-
下期	▲4.3%	+2.4%	-
店舗数純増(通期)	2店舗	9店舗	+7店舗
上期	6店舗	7店舗	+1店舗
下期	▲4店舗	2店舗	+6店舗
売上高総利益率(通期)	48.3%	48.6%	+0.3p
上期	48.2%	48.1%	▲0.1p
下期	48.4%	49.4%	+1.0p
売上高販管費率(通期)	31.8%	31.9%	+0.1p
上期	28.4%	29.1%	+0.7p
下期	36.6%	35.9%	▲0.7p

アジア地区では増収増益が続く

中国・香港：増収増益続く

- ・景気の低迷を勘案し、慎重な売上高、経費、粗利益率により増益
- ・新規出店数は82店舗、大量出店続く

韓国：景気減速を勘案し、前年比横ばいの営業利益を予想

- ・ 25店舗の出店、2店舗の閉店

台湾：20店舗を出店、期末で37店舗まで拡大

シンガポール・マレーシア：7店舗を出店、期末で19店舗まで拡大

タイ：5店舗を出店、期末で9店舗まで拡大

フィリピン：5店舗を出店

		2012年8月期	2013年8月期	
		通期実績	通期予想	前期比
海外ユニクロ事業	売上高	1,531	2,160	+41.0%
	営業損益	109	160	+45.5%
	(売上比)	7.2%	7.4%	+0.2p

単位：億円

米国、英国では収益性が大幅に改善

米国：赤字幅が大幅に縮小する見込み

- ・ニュージャージー州 Garden State Plaza店、
San Francisco Union Square店は好調な滑り出し
- ・インターネット販売を開始
- ・ニューヨーク3店舗の収益の改善

英国：欧州全体の経営統合による効率化、収益性の改善

フランス：パリ市内に新店オープン、
営業利益はほぼ前年並みを見込む

ロシア：営業利益はほぼ前年並みを見込む

ジーユー、セオリーは二桁増益

ジーユー事業：既存店売上高の増収、60店舗の新規出店

売上高は約800億円へ拡大、二桁増益を見込む

セオリー事業：好調な売上トレンド続く、PLST事業で出店増

大幅な増収、二桁増益を見込む

コントワー・デ・コトニエ事業：春夏コレクション以降、売上が回復

増収増益を見込む

プリンセス タム・タム事業：前年比ほぼ横ばいを予想

単位：億円

		2012年8月期	2013年8月期	
		通期実績	通期予想	前期比
グローバルブランド事業	売上高	1,530	1,850	+20.9%
	営業損益	145	185	+27.2%
	(売上比)	9.5%	10.0%	+0.5p

2013年8月期 グループ事業別 業績予想

単位：億円

		2012年8月期	2013年8月期	
		通期実績	通期予想	前期比
国内ユニクロ事業	売上高	6,200	6,530	+5.3%
	営業損益	1,023	1,090	+6.5%
	(売上比)	16.5%	16.7%	+0.2p
海外ユニクロ事業	売上高	1,531	2,160	+41.0%
	営業損益	109	160	+45.5%
	(売上比)	7.2%	7.4%	+0.2p
グローバルブランド事業	売上高	1,530	1,850	+20.9%
	営業損益	145	185	+27.2%
	(売上比)	9.5%	10.0%	+0.5p

注 連結業績には上記のほか、ファーストリテイリングの業績、のれん償却費が含まれております。

配当金予想

2012年8月期 年間配当金 260円を見込
 2013年8月期 年間配当金 280円を予定

	1株当たり配当金		
	中間	期末	通期
2011年8月期	95円	85円	180円
2012年8月期※1	130円	130円	260円
2013年8月期(予)※2	140円	140円	280円

※1 2012年8月期の期末配当金は、2012年11月5日開催予定の当社取締役会での決議を前提としています。

※2 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、期末配当金額を変更することがあります。

連結対象会社別出退店 実績・予想

【単位：店舗】	11年8月 期末	2012年8月期末				2013年8月期末 予想			
		出店	退店	純増減	期末	出店	退店	純増減	期末
ユニクロ事業合計	1024	140	27	+113	1,137	199	45	+154	1,291
国内ユニクロ事業：※	843	25	23	+2	845	52	43	+9	854
直営店	822	24	22	+2	824	51	40	+11	835
大型店	129	20	2	+18	147	33	1	+32	179
標準店等	693	4	20	▲16	677	18	39	▲21	656
FC	21	1	1	0	21	1	3	▲2	19
海外ユニクロ事業：	181	115	4	+111	292	147	2	+145	437
中国(除く香港)	80	65	0	+65	145	80	0	+80	225
香港	15	1	0	+1	16	2	0	+2	18
台湾	1	16	0	+16	17	20	0	+20	37
韓国	62	18	0	+18	80	25	2	+23	103
シンガポール	5	2	0	+2	7	4	0	+4	11
マレーシア	2	3	0	+3	5	3	0	+3	8
タイ	-	4	0	+4	4	5	0	+5	9
フィリピン	-	1	0	+1	1	5	0	+5	6
英国	11	2	3	▲1	10	0	0	0	10
米国	1	2	0	+2	3	2	0	+2	5
フランス	1	1	0	+1	2	1	0	+1	3
ロシア	3	0	1	▲1	2	0	0	0	2
ジーユー事業	148	35	7	+28	176	60	20	+40	216
セオリー事業※	371	27	25	+2	373	40	1	+39	412
コントワー・デ・コトニエ事業※	386	12	15	▲3	383	15	8	+7	390
プリンセス タム・タム事業※	159	2	8	▲6	153	7	5	+2	155
総合計	2,088	216	82	+134	2,222	321	79	+242	2,464

【連結】2013年8月期 上期業績予想

単位：億円

	2012年8月期	2013年8月期	
	上期実績	上期予想	前年同期比
売上高 (売上比)	5,255 100.0%	5,855 100.0%	+11.4%
売上総利益 (売上比)	2,684 51.1%	2,980 50.9%	+11.0% ▲0.2p
販管費 (売上比)	1,767 33.6%	2,050 35.0%	+16.0% +1.4p
営業利益 (売上比)	917 17.5%	930 15.9%	+1.4% ▲1.6p
経常利益 (売上比)	935 17.8%	925 15.8%	▲1.1% ▲2.0p
当期利益 (売上比)	577 11.0%	555 9.5%	▲4.0% ▲1.5p

適用為替レート

単位：円

	1USD	1EUR	1GBP	1RMB	100KRW
2011年8月期 通期(12ヶ月平均)	82.0	113.2	131.1	12.4	7.0
2012年8月期 通期(12ヶ月平均)	78.6	103.9	124.3	12.4	6.9
2013年8月期 通期予想レート	80.0	100.0	125.0	12.5	7.0

設備投資 減価償却費 のれん償却額

単位：億円

	設備投資	減価償却費	のれん償却額
2011年8月期 通期実績(12ヶ月累計)	339	187	65
2012年8月期 通期実績(12ヶ月累計)	401	185	56
2013年8月期 通期予想(12ヶ月累計)	340	186	40

※ 2011年8月期の減価償却費実績には、固定資産減価償却の一括償却分40億円を含む

【連結】 2011年8月期計上 特別損失の主な項目

会計処理の変更に伴う特別損失 合計 96億円

物流費一括償却 ▲26億円

物流費・商品倉庫料の計上基準を統一したことに伴い、2010年8月末時点の在庫に含まれる物流費・商品倉庫料の相当額を一括償却

固定資産の減価償却費一括償却 ▲40億円

固定資産の減価償却費計上基準を統一したことに伴う、過去分一括償却

資産除去債務過去分一括償却 ▲29億円

資産除却債務会計基準の適用に伴い、過去分を一括償却

その他の特別損失 合計 38億円

災害による損失 ▲10億円

東日本大震災に伴うもの

減損損失 ▲ 8億円

プリンセス タム・タム事業にかかるのれんの減損 5億円含む

事業整理損失引当金繰入額 ▲ 8億円

靴販売専門店の閉店に伴うもの

2012年8月期業績 および2013年8月期業績見通し

岡崎 健

株式会社ファーストリテイリング
グループ上席執行役員 CFO

2012年8月期の振り返りと 今後の展望

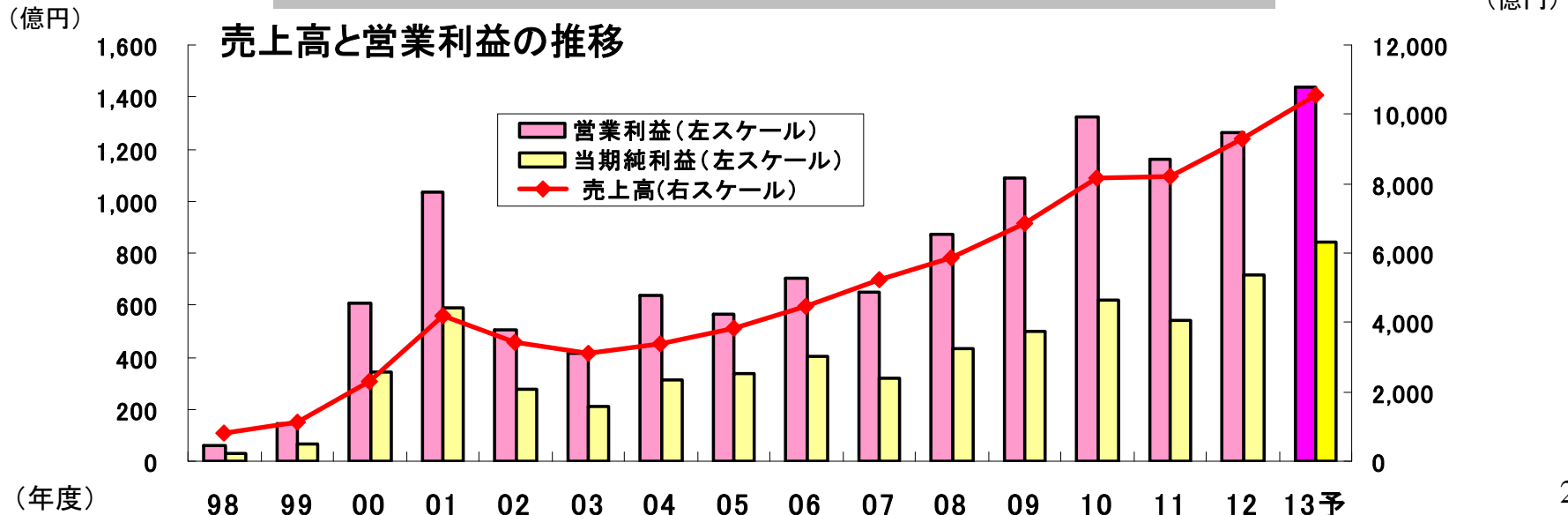
柳井 正

株式会社ファーストリテイリング
代表取締役会長兼社長

2012年8月期は増収増益を達成

売上高 9,286億円 (前期比+13.2%)
営業利益 1,264億円 (前期比+ 8.7%)
当期純利益 716億円 (前期比+31.8%)

	2011年8月期		2012年8月期		2013年8月期	
	通期(実績)	前年比	通期(実績)	前年比	通期(予想)	前年比
売上高	8,203	+0.7%	9,286	+13.2%	10,560	+13.7%
営業利益	1,163	-12.1%	1,264	+8.7%	1,435	+13.5%
経常利益	1,070	-13.5%	1,252	+16.9%	1,425	+13.8%
当期純利益	543	-11.9%	716	+31.8%	845	+17.9%
EPS(円)	533.9		703.6		829.6	



2012年8月期の振り返り

○国内ユニクロ事業は増収減益

既存店売上高は0.5%減収、原料コストアップにより粗利益率が低下

○ヒートテックを全世界で1億点販売

○コア商品の販売が好調

ウルトラライトダウン、暖パン、AIRism(サラファイン、シルキードライ) イージーレギンスパンツ等のコア商品の販売が好調

○中国・台湾・韓国などのアジア地区で大量出店

○ニューヨーク5番街、台北、ソウル、銀座にグローバル

旗艦店をオープン、ユニクロのブランド認知度が高まる

○ジーユーの銀座旗艦店がオープン。年商500億円を突破

○セオリー事業は大幅な増収増益を達成

ユニクロを、真のグローバル ブランドにする

ユニクロが世界中の人々に知れ渡り、
その日から、お客様に喜んで買っていただける
商品とサービスを提供する

ユニクロを、真のグローバル
ブランドにするためには…

アジアで圧倒的なナンバーワンになる

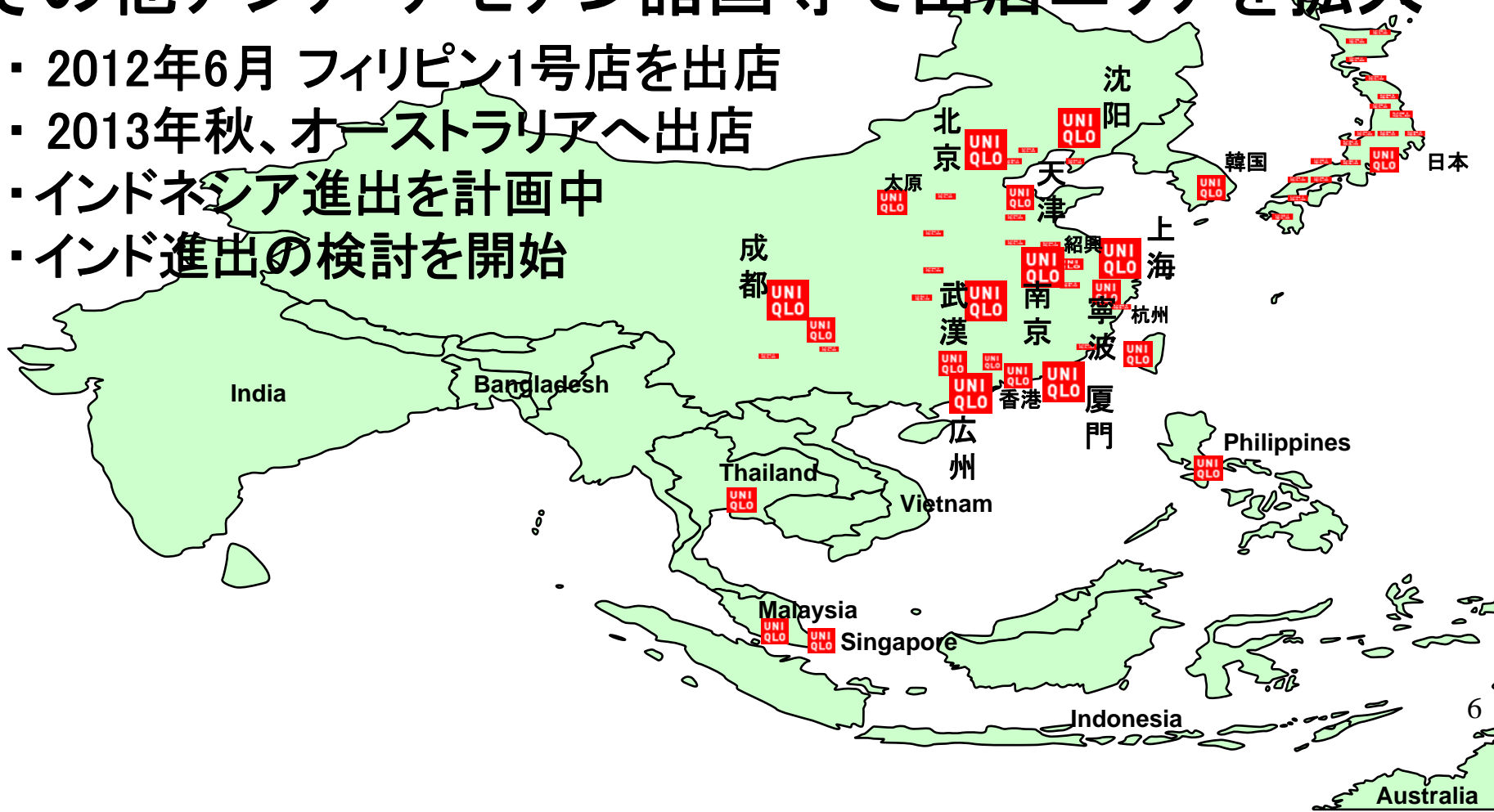
世界中で大型店中心に年間200～300店舗
を出店

グローバル旗艦店、グローバル繁盛店、
メガストアを世界の主要都市に出店

グローバルで、ファッションリーダーシップ、
プライスリーダーシップをとる

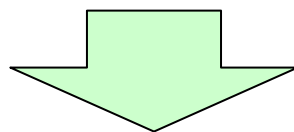
アジアで圧倒的なナンバーワンになる

- ・2013年8月期のアジア全体の売上高(日本除く)は1,700億円以上が目標
- ・その他アジア・アセアン諸国等で出店エリアを拡大
 - ・2012年6月 フィリピン1号店を出店
 - ・2013年秋、オーストラリアへ出店
 - ・インドネシア進出を計画中
 - ・インド進出の検討を開始



アジア市場の展望

グレートチャイナ(中国・香港・台湾)・
アセアン諸国・インドは最大の成長機会
大量出店を継続する



中産階級の人口が
爆発的に増える可能性

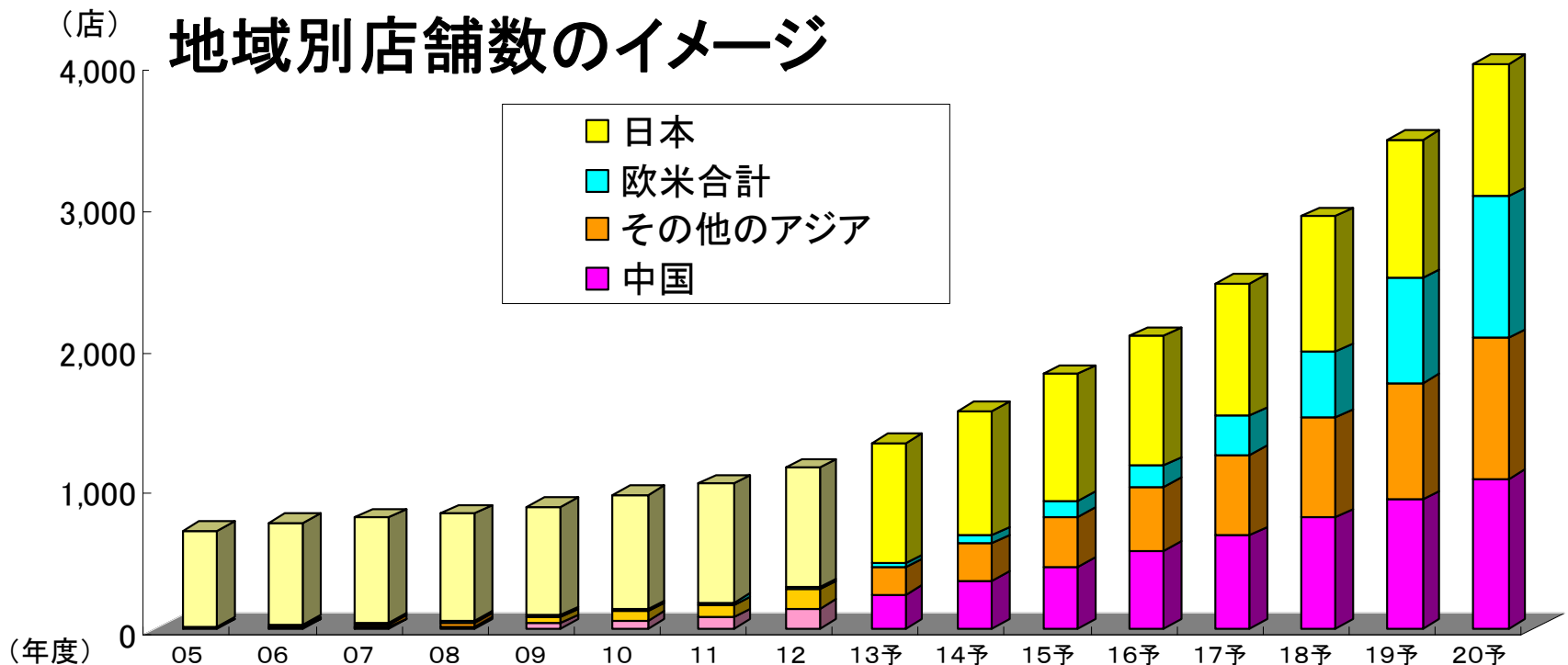
「1店舗1店舗が儲かる店」

最終的に売上高営業利益率15%以上が目標

世界中で年間200～300店舗を出店

2020年の店舗数(目標)

日本	⇒	1,000店舗
中国	⇒	1,000店舗
その他のアジア等	⇒	1,000店舗
欧米	⇒	1,000店舗



グローバル旗艦店、グローバル繁盛店

世界の主要都市にグローバル旗艦店、 グローバル繁盛店、メガストアを出店

ビックロ新宿東口店	2012年9月27日開店	グローバル繁盛店
San Francisco店	2012年10月5日開店	旗艦店
銀座プランタン店	2012年11月2日開店	メガストア
池袋店(仮称)	2014年春開店予定	グローバル繁盛店
上野店(仮称)	2014年春開店予定	グローバル繁盛店



ビックロ ユニクロ新宿東口店(東京)



ユニクロの商品の隣に家電製品が並ぶ

グローバル繁盛店「ビックロ」

グローバル
旗艦店

=

世界に向けた
ショーケース

グローバル
繁盛店
「ビックロ」

=

ユニクロの
最高のサービスと
エンターテイメント



異業種と組むことによって、
新しい発想の小売業を作る

メガストア:プランタン銀座店

ファーストリテイリングのグループブランドを ひとつの店舗で展開する新業態

「女性のための、新しいユニクロ」

幅広い価格帯、
色々なタイプの服を
ワンストップで選べる店



ユニ
クロ

UNI
QLO

UNIQLO
MARCHÉ

=



ユニ
クロ

UNI
QLO

P L S T



g.u.



COMPTOIR DES
COTONNIERS



PRINCESSE tam·tam
PARIS

グループブランドとのコラボ商品

セオリー、コントワー・デ・コトニエとの 初のコラボレーション

ウルトラライトダウンの素材を使ったアウター



X

COMPTOIR DES
COTONNIERS

t h e o r y

T-DOWN



(左:コントワー・デ・コトニエが
ギャラリー・ラファイエットに
ポップアップストアを出店
ウルトラライトダウンジャケット
(Mademoiselle Plume)が大好評)

Mademoiselle
Plume



中国・香港・台湾・韓国で ヒートテック、ウルトラライトダウン、ウルトラ ストレッチジーンズのテレビCMをスタート



ウルトラライトダウンのCM(2012年FW、台湾)



ウルトラストレッチジーンズのCM(2012年FW、韓国)

米国ユニクロの展開

9月28日、ニュージャージー州の ショッピングモールに出店

米国トップ10に入る最大級のショッピングモール
Westfield Garden State Plazaに
売場面積1,000坪のユニクロを出店



UNIQLO Garden State Plaza店



オープン前には1,000名のお客様が行列

10月5日、サンフランシスコに初出店

初の米国西海岸への出店

サンフランシスコの繁華街 Union Square に出店
オープン前に1,000人のお客様が行列する大盛況



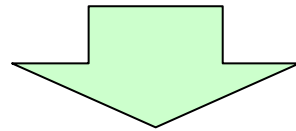
UNIQLO San Francisco Union Square店



混雑する店内

今後の拡大戦略

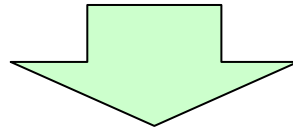
- ・売上拡大と経営効率化による事業の黒字化
- ・経営チーム・店長育成のさらなる強化
- ・ニューヨーク市内・郊外で20～30店舗を出店し、ドミナント化を図る
- ・サンフランシスコ市内・郊外でも20～30店舗を出店し、ドミナント化を図る
- ・グローバルインターネット販売をスタート



北米全土への出店

今後の拡大戦略

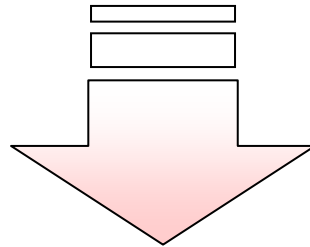
- ・新CEOのもと、ヨーロッパ事業（英国・フランス・ロシア）の経営を統合、経営陣を強化
- ・英国は、S & Bによりロンドン市内の大型店中心の事業へ再構築
- ・フランスはパリ中心にチェーン展開
- ・ベルリン、ミラノ、バルセロナへの進出を検討中



ユニクロを欧州の
主要都市へ出店

ユニクロがSPAを始めた頃は、
「低価格」でお客様を驚かせ、
次に、「高品質」でお客様の期待に応えた

次にユニクロがめざすのは……



グローバルで**ファッションリーダーシップ**を
とる、ユニクロの強みをさらに活かして、
プライスリーダーシップをとる

グローバルブランド:セオリー事業

2012年8月期は過去最高の営業利益を達成

日本: theory、theory luxe は百貨店で好調な販売
PLST事業の成功(2012年8月末:43店舗)

米国: theyskens' theory、Helmut Lang が高い人気

ヨーロッパ: theoryパリ旗艦店がオープン(2012年9月)



(PLST店)



(Theory パリ旗艦店がコレットと同じ
サントノーレ通りにオープン)

グローバルブランド：CDC事業・PTT事業

コントワー・デ・コトニエ、プリンセス タム・タムでは 事業改革が進行中

- ・グローバルワン全員経営
- ・新CEOのもと、経営陣を強化
- ・フランスを中心にヨーロッパ全土で展開する事業基盤をつくる
- ・2012年春夏シーズンから売上回復の兆し



(コントワー・デ・コトニエ パリ パヴェ通り店)



(コントワー・デ・コトニエ
2012年FW商品)

ジーユー事業の成長

好調な業績

2012年8月期実績	売上高	約580億円
	営業利益	約50億円
2013年8月期予想	売上高	800億円
2014年8月期予想	売上高	1,000億円

ジーユー事業、成功の要因

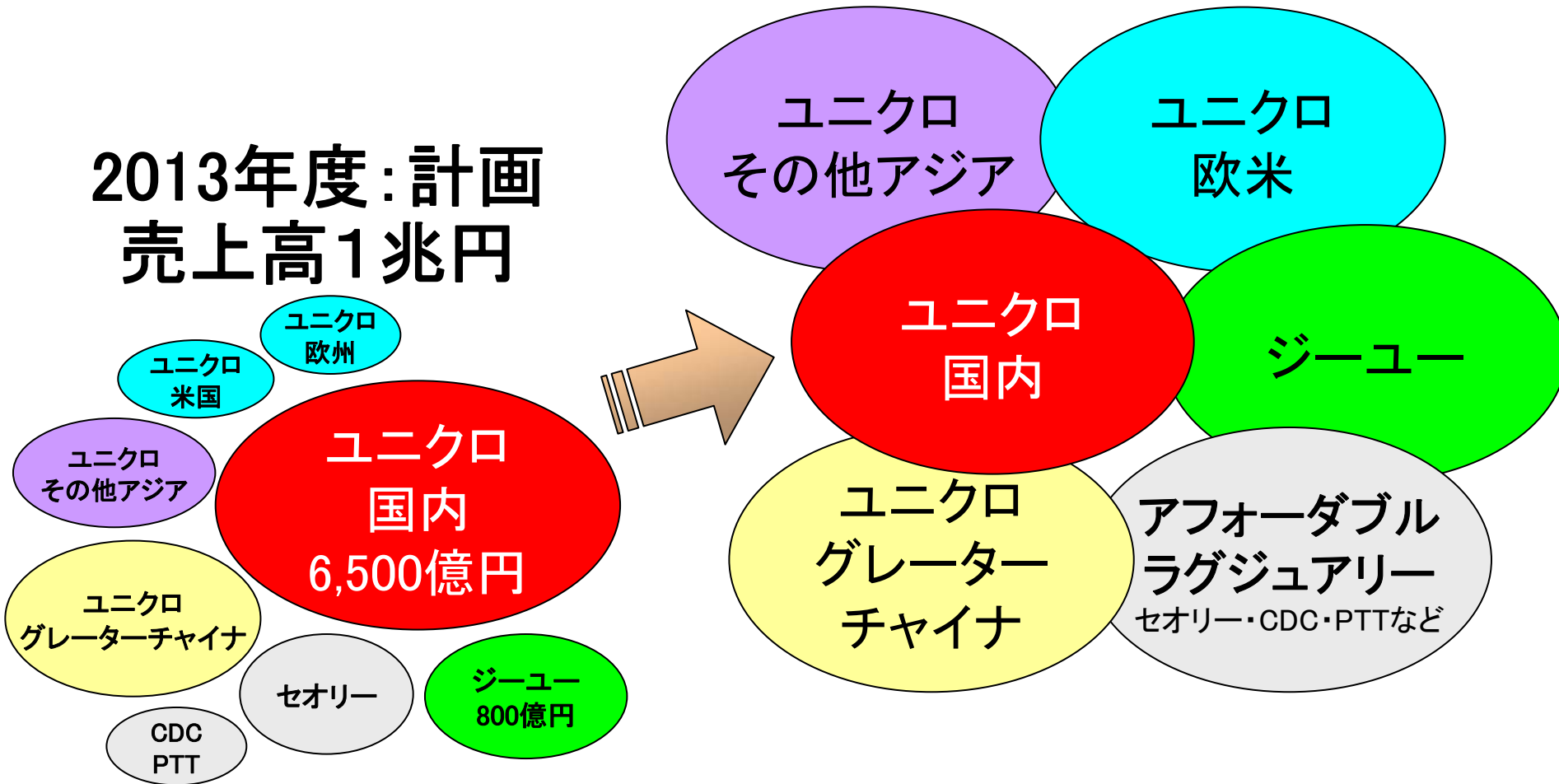
- ・ファッション性 & 超低価格が市場ニーズをとらえる
- ・ゆるパン、マキシワンピースなど、次々と人気のアイテムを展開
- ・銀座旗艦店、人気タレントのTVCM効果で知名度が飛躍的に向上



ファーストリテイリングの長期ビジョン

2020年：目標
売上高5兆円

2013年度：計画
売上高1兆円



CSR活動の重要性

服の企画・生産・販売を通して、
「世界を良い方向に変えていく」

企業の精神そのものを買っていただき、
企業として永続的に支持されることをめざす

《主なCSR活動》
ユニクロ復興応援プロジェクト
全商品リサイクル
ソーシャルビジネス
障がい者雇用
生産工場における、労働環境モニタリング
環境保全活動

ユニクロ復興応援プロジェクト

さまざまな活動を通して復興を応援

2012年3月、被災地にユニクロ店舗をオープン

- ・ユニクロシープラザ釜石店(岩手県釜石市:仮設から通常店舗へ)
- ・ユニクロ気仙沼店(宮城県気仙沼市:仮設店舗)
- ・ユニクロ原町店(福島県南相馬市:一時閉店店舗の再開)



総額約33億円相当の寄付を実施

- ・ユニクロ商品(下着類など)を120万着(10.6億円相当)を被災地に配布
- ・「桃・柿育英会 東日本大震災遺児育英資金」に約2.3億円の寄付
約1,500名の孤児・遺児に奨学金を支給、学業をサポート
- ・全世界のユニクロ、ジーユー、セオリー等の店頭に寄せられたお客様からの寄付金2.8億円
- ・取引先様からお預かりした1.3億円の義援金、毛布20万着を寄付
- ・全世界のファーストリテイリンググループ従業員から1.8億円、柳井正個人から10億円、
合計11.8億円を日本赤十字、NGO等へ寄付
- ・SAVE JAPAN! Tシャツの売上のうち1.3億円を日本赤十字に寄付
- ・ファーストリテイリンググループから3億円を寄付

東北で活動するNGOとの共同復興支援活動を開始

- ・2012年3月、ユニクロから3億円、お客様からの募金を合わせて「復興支援金」とし、被災地での自立支援、雇用創出、経済支援に取り組むNGO団体を今後3年間支援することを決定
- ・ファーストリテイリングの従業員もNGO団体の活動にボランティア参加

全商品リサイクル活動

「300万着足りません」キャンペーン(6月開始) 回収目標数値を10月現在までに達成

2001年から活動を開始して以来、
世界22ヶ国に519万点の衣料を
難民・避難民へ寄付



(2012年3月、ケニアの
難民キャンプで100万点
の衣料支援を実施)

グローバルな社会貢献活動

プロテニス世界トップランカーの ノバク・ジョコビッチ選手と「グローバル ブランド アンバサダー」契約を結ぶ

ジョコビッチ選手と共同で
社会貢献活動を開始

“中国オープン2012”
3度目の優勝



国枝慎吾選手

北京、ロンドンパラリンピックと
2回連続で**金メダル**を獲得



“楽天・ジャパン・
オープン2012”
優勝！



錦織圭選手

2012年全豪オープンで、日本男子
として80年ぶりにベスト8入り。
現在、プロテニス世界ランク15位

ファーストリテイリングは、

服を変え、常識を変え、世界を変えていく

2012年8月期の振り返りと 今後の展望

柳井 正

株式会社ファーストリテイリング
代表取締役会長兼社長